

# 次世代 PACS はセキュアなクラウドサービスへ



## NOBORI とは

「NOBORI」はIT 技術によって、画像などの医療情報を安全に保管・利用できる新しいクラウドサービスです。検査画像をはじめとする大容量の医療情報を医療機関の外部にあるデータセンターで安全に管理します。

必要な時にいつでも参照、共有、利用でき、PACSという言葉に統合されるさまざまなソフトウェアや機能をクラウド環境で提供いたします。



## サービスイメージ

「NOBORI」のシステムは、堅牢なセキュリティを実現し、厚生労働省などのガイドラインに準拠しています。データを東日本と西日本の二拠点で多重保管するデータセンターは、PAS99, ISO9001, ISO14001, ISO20000, ISO27001 に加え、FISC 準拠認証を取得、24 時間 365 日有人受付・生体認証とカードシステム認証による最新鋭のセキュリティシステムで監視されており、病院・医療機関からお預かりしたデータを安全に保管します。「NOBORI」サービスでは、大型のサーバ機を病院・医療機関内に設置する必要はありません。設置するのは「NOBORI-CUBE」と呼ばれる、コンパクトな専用アプライアンスサーバのみ。「NOBORI-CUBE」の種類と数を調整するだけで、大規模病院からクリニックまで、様々なスケールのシステムが構築可能です。



### Feature 01

### NOBORI-CUBE

#### 院内サーバ不要

専用のアプライアンス「NOBORI-CUBE」によりシステム構築します。病院規模に合わせてCUBEを必要数配置します。ストレージにはSSDを採用し、耐障害性に優れます。

### Feature 02

### Smart-Retrieve

#### スピーディーな画像参照

HIS 情報と連携し、データセンターにあるデータを事前に取り寄せる「Smart-Retrieve」機能を実装しています。過去検査画像もストレスなく参照可能です。

### Feature 03

### Security

#### 安心・安全のデータ保管

データは東日本 / 西日本2拠点のデータセンターで多重管理します。またデータは暗号化および秘密分散の方式によりデータの安全性を約束します。

### Feature 04

### Cost Saving

#### 初期投資『ゼロ』

NOBORI-CUBE をレンタル機器としてご提供することで、初期投資ゼロを実現します。将来的な拡張も契約プランの変更のみとなり、数年ごとのサーバの買い替えも不要になります。

### Feature 05

### Maintenability

#### 障害自動検知

各施設のシステム稼働状況を常時監視しています。障害を検知した際にはデータセンターよりNOBORI サポートセンターに通知され、問題解決を図ります。

### Feature 06

### Communication

#### 施設間連携にも対応

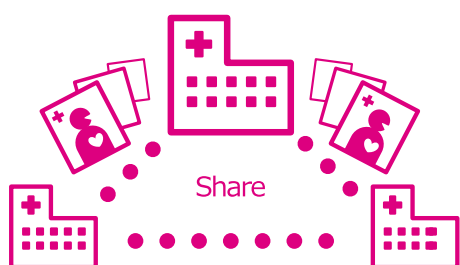
関連施設との患者データ・症例データの共有など施設を横断した情報連携、遠隔読影やモバイルでの情報参照などのサービスのご提供も可能です。

## みんなの明日のために、これからも「NOBORI」は成長を続けます。

NOBORI はさらに成長します、クラウドPACS にとどまらない医療情報全般のクラウドサービスへ、そして医療情報プラットフォームへと発展することで、患者・生活者がより利用しやすい身近な新しい医療サービスの提供と、その品質の向上を支援していきます。「個人すべての健康な生活を守りたい」それが「NOBORI」に込めた願いです。

### グループ・多施設間連携

「データセンターにアップした画像を、グループ施設間で共有したい」そんなご要望にも「NOBORI」はお応えします。グループ施設間の横断的な、仮想化された統一サーバをクラウド上に構築し、患者・生活者の生活動線に沿った、医療情報のスムーズな移動、参照を可能にします。紹介患者のデータなど今まで媒体搬送（フィルム、CD 等）を利用されていた情報について、その媒体作成とコストを省き、高度なセキュリティをお約束した上で、安全にデータを共有化。さらに「NOBORI」サービスを導入されていない医療機関を含めた情報連携を実現します。



### 医療情報交換プラットフォームへ

大切な個人情報が入った暗号化された記録され、搬送されているCD 媒体。フィルムレス運用を確立したにも関わらず、情報提供の目的のために出力されるフィルム。こういった無駄をなくすために、専用アプライアンス “NOBORI-CUBE”を導入されていない医療サービス提供者間でも、安全、確実に医療情報を搬送するためのプラットフォームとして、「NOBORI」をご利用いただくことを計画しています。



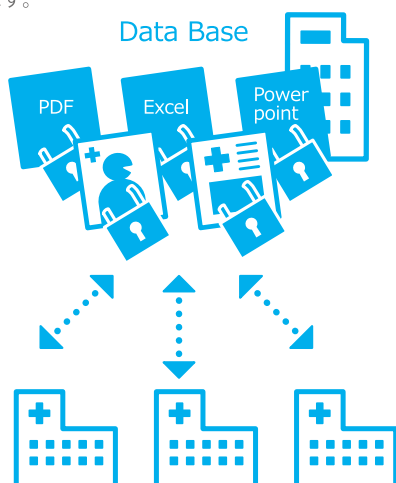
### ベンダー非依存の医療情報バックアップ

「NOBORI」はVNA（Vendor Neutral Architecture）という設計思想に準拠しています。「すでに別のシステムが院内では稼働しているけれど、広域災害に備えてBCP（事業継続計画）を確立したい」というご要望にも対応。データのバックアップサービスのみでの利用も、データ取得用の “NOBORI-CUBE”を設置するだけで可能です。そしてもう一つ大切な保証として、「NOBORI」にお預かりするすべての情報について、解約時点でのデータ返還を、初期契約の中でDPP（Data Portability Proof）として保証しています。



### 広域での医療統計情報としての活用

外部に保管されたデータを、グループ、関連施設間で共有し、広域の医療統計情報としてご利用いただけるようにしていきます。個人の診療情報を適切に集約し、医療現場や地域生活者を支援する社会の集合知に高めることが、「NOBORI」の役割のひとつと考えています。



### より広範な医療情報をサポート

「NOBORI」がサポートするのは、DICOM 画像だけではなく、電子カルテに代表される様々な診療情報も、広域でのバックアップが必要です。心電図、病理画像、他各種画像、音声、動画（循環機分野、嚥下、手術記録、他一般ビデオ）、3D 解析を目的としたThin Slice データ。多様なデータ形式が混在し、利用目的もさまざまです。単なるバックアップではなく、その情報の利用目的に合わせた保持期限管理、またデータへのアクセス状況の分析など、広範囲な医療情報を「NOBORI」はサポートします。



### 個人主体のデータ管理サービス

病院・医療機関での診療や検査のデータはもちろん、患者・生活者一人ひとりが生まれてからの、健康にかかわるすべての情報を、「NOBORI」がお預かりします。家族のデータを安心して預けられる仕組みづくり、それが「NOBORI」のミッションと考えています。ライフステージに合わせて、本人の選択と意思で、信頼する医師や専門の医療サービスと必要な情報を共有する、患者・生活者主導のデータの管理「パーソナル・ヘルスケア・データバンク」を「NOBORI」は目指しています。

